

ビル用アルミニウム製建具工事 「製作取付図」ガイドライン

平成24年1月

社団法人 日本サッシ協会

ビルサッシ委員会

1. 総則

- 1-1 ビル用アルミニウム製建具工事「製作取付図」のガイドライン（以下、本書）の目的は社団法人日本サッシ協会会員各社の設計業務の遂行が円滑に行われると同時に、建設生産の生産性向上に寄与することを目的とする。
- 1-2 専門工事業者の作成する図面は「製作取付図」と称し、工場製作と建築現場での取付けを目的とする。
- 1-3 本書は「製作取付図」の作図にあたり、製品に付随する作図範囲の標準例を示すものである。

2. 運用について

- 2-1 協会会員各社によって作図の仕様が異なる場合がある為、作図範囲の標準として運用する。

3. 運用開始日

- 3-1 本書の運用は平成24年1月より開始する。

4. 共通事項

- 4-1 契約外工事の責任範囲を明確にする為、「契約範囲外工事リスト」を「製作取付図」に差し込み図として添付する。
- 4-2 「別途工事」の記載は「契約範囲外工事リスト」に記入し、詳細断面図に重複して記入しない。
- 4-3 姿図や詳細断面図等の寸法線は重複して記入しない。
- 4-4 姿図と金具欄には重複して記入しない。
- 4-5 サッシアンカーピッチは「製作取付図」の仕様書に記入し、姿図には重複して記入しない。
- 4-6 姿図には平面図は記入しない。尚、勝手等有る場合はサッシの開閉記号にて記入する。
- 4-7 壁等の仕上げ寸法は総厚みのみ記入とし、仕上げ材名称及び仕上げ材毎の厚みは記入しない。
- 4-8 平面詳細図で、左右対称の納まりは重複して記入しない。

5. 注意点

- 5-1 取合う他業種製品（契約範囲外）の詳細作図は、サッシの性能や寸法・納まり等に影響がある場合を除き、原則として行わない。
- 5-2 本書の納まりは湿式工法（RC）で作図してあるが、乾式工法についても本書に準ずる。

6. 建具の種類と名称

6-1 アルミニウム製建具の種類と名称

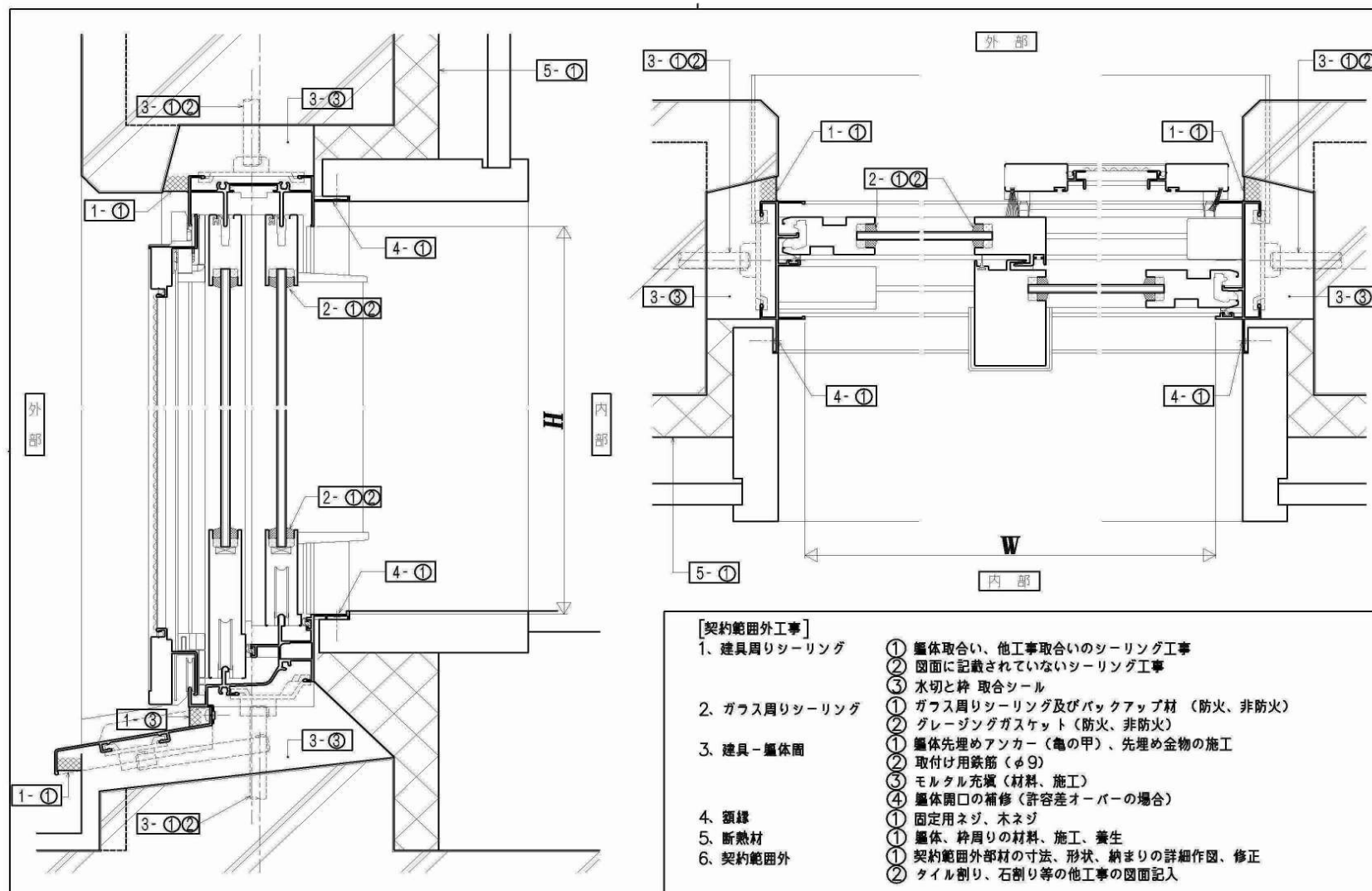
種類	名称	備考
一般アルミニウム製窓	AW	通常アルミニウム製窓
一般アルミニウム製ドア	AD	通常アルミニウム製ドア
一般アルミニウム製ガラリ	AG	通常アルミニウム製ガラリ

6-2 その他の種類と名称

種類	名称	備考
面格子	AM	防犯を目的として窓の外側に取付ける格子
手すり	AH	建物の屋上、屋外の廊下、ベランダ、階段に設置し、墜落防止の安全柵として使用するもの
門扉	M	戸外の出入り口に取り付けた扉

6-3 鋼製建具(スチール・ステンレス)の種類と名称 (出典JSDAより)

種類	名称	備考
一般鋼製建具	SD	通常鋼製建具一般に用いられる名称
防火扉	FSD	建築基準法で定められた防火基準を満たした物「防火設備」「特定防火設備」「複合防火設備」
鋼製窓	SW	FIX、引違い、引分け等各種鋼製窓に対する名称
木製扉枠	SWD	木製扉を吊りこむ鋼製建具枠、扉は契約外工事
3方枠 1方見切り枠等	SF	仕上端部を意匠的に塞ぐ見切枠状況により縦枠のみや三方枠など各種あり
軽量建具	LSD	薄板(0.6~0.8mm)を使用し中骨の代わりに充填物を使用した軽量の扉※充填材はペーパーハニカム等
引き戸	HD	通常片引・両引分等引戸全般の名称※他に軽量引戸(LHD)あり
点検口	PS	天井裏、床下、パイプスペースなどの内部を点検するための開口あるいは扉



契約範囲を明確にするため、契約範囲外工事リスト を追加。

